

## 2022 年度重点活動項目

### COVID-19 対応を含む地域共生社会への作業療法士の積極的な参画と 協会新体制整備の推進

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の世界的流行により社会の格差は拡大し、医療崩壊の危機や保健・福祉の機能不全は国民、とりわけ社会的弱者である障害者やそのケアを担う人々に大きな影響を与えてきた。作業療法の臨床ではサービス提供に、作業療法士教育では臨床教育に制限が生じている。

これらの状況の改善を図るために、一般社団法人日本作業療法士協会は、作業を通して人々の健康と幸福を実現する作業療法の理念に基づき、COVID-19 が社会にもたらした教訓を踏まえ、地域共生社会への作業療法士の積極的な参画を通して、国民の健康と幸福に貢献する作業療法提供のあり方を示してゆく。これを実現していくために、特に次の3点を強調したい。

#### ○「地域包括ケアシステムへの寄与」を継続

2022 年度は「地域包括ケアシステムへの寄与」をスローガンに掲げた第三次作業療法 5 ヶ年戦略の最終年に当たるが、重点事項として示した「共生社会の実現に向けた、地域を基盤とする包括的ケアにおける作業療法の活用推進」は道半ばである。過去 5 年間に総括・検証するとともに、第四次作業療法 5 ヶ年戦略に課題を引き継ぎ、その着実な実行につなげるための一年としたい。

#### ○持続可能な事業運営のあり方を検証・推進

COVID-19 流行の下、本会の会議や学会・研修会においても ICT 活用が推進され、各事業の実施方法の効率化やアクセシビリティの向上が図られた。この経験を生かして、社会の要請に柔軟に即応できる持続可能な事業運営のあり方を検証し、引き続き推進していく。

#### ○新しい協会組織体制への移行を準備

6 万人の会員と共に、都道府県作業療法士会と協調しながら、激動する社会に適時的確に伝えていくためには、協会組織の体制整備が喫緊の課題である。2023 年度の新体制スタートに向け、役員・組織・事務局機能等の整備を進め、定款・諸規程の改定作業を行う。

### 1. 作業療法の学術の発展への取り組み

- 1) 組織的学術研究の展開と新規分野への着手……継続 (#7 学術部)
- 2) 新たな事例報告登録制度の整備に着手……新規 (#3・55 学術部)
- 3) 学術評議員会 (仮称) 設置に向けた検討……新規 (学術部)
- 4) 2024 年第 8 回アジア太平洋作業療法学会 (Asia Pacific Occupational Therapy Congress: APOTC) のホームページの公開……新規 (#42 国際部・APOTC 実行委員会・学術部・教育部)

### 2. 作業療法士の技能の向上の取り組み

- 1) 作業療法士学校養成施設連絡会において学校養成施設と都道府県士会と実習施設との連携のあり方について検討……継続 (#11・54 教育部)
- 2) Web を使用した研修会開催方法の標準化、e ラーニング研修のコンテンツ制作の積極的推進を通じた学ぶ機会の拡大・多様性の促進……継続 (#18 教育部)
- 3) 新生涯学修制度の枠組み周知とシステム移行に向けた具体的な対応の開始……新規 (教育部)
- 4) 地域共生社会に貢献するための作業療法 (士) の技能の整理と提示……新規 (#21 地域包括ケアシステム推進委員会)
- 5) 生活行為向上マネジメント実践者研修のあり方の整理と推進……新規 (#23MTDLP 室)

### 3. 作業療法の有効活用の促進に向けた取り組み

- 1) 当事者が望む生活を実現するための精神科の作業療法の考え方の普及とエビデンスの構築……継続  
(#25 制度対策部・教育部・学術部)
- 2) 要支援 1～要介護 2 対象者が今後の介護予防・日常生活支援総合事業へ移行することを考慮した作業療法の支援のあり方と効果の提示、地域支援事業へのさらなる参画拡大……継続 (#24 地域包括ケアシステム推進委員会)
- 3) 地域ケア会議や介護予防・日常生活総合事業における専門的助言と個別支援を拡大し、対象者や地域性に合わせたモビリティ支援を推進……継続 (#24 運転と作業療法委員会)
- 4) 認知症に対する作業療法実践を踏まえた、関係団体及び国への認知症施策推進大綱に対応する提案と認知症疾患医療センター等における作業療法士の活用の推進……継続 (#22 制度対策部)
- 5) COVID-19 が作業療法実践に及ぼした影響について調査分析し、今後の作業療法を考える基礎資料を提示……継続 (制度対策部)
- 6) 次期改定に向けた集団の作業療法のあり方等重点的な課題への取り組み……新規 (制度対策部)

### 4. 作業療法の普及と振興に関する取り組み

- 1) ホームページ、SNS、パンフレット等で各分野のスタンダードな作業療法を明示することで、作業療法の有用性と役割を国民・関連団体等に向けて啓発……継続 (#37・38 広報部)
- 2) 各都道府県士会広報部との連携強化により普及・啓発活動の情報を共有……継続 (広報部)

### 5. 内外関係団体との提携交流に関する取り組み

- 1) 協会・士会間の情報共有と意見交換を適時適切に実施する方法の確立と運用開始……継続 (47 都道府県委員会・事務局)
- 2) 台湾作業療法協会との学術交流協定の締結……新規 (#44 国際部)

### 6. 大規模災害等により被害を受けた人への支援に関する取り組み

- 1) 感染症を含めた複合災害に備え、平時からの地域包括ケアシステムにおける作業療法士としての役割の整理と実践……新規 (#45 災害対策室)

### 7. 法人の管理と運営における取り組み

- 1) 「協会員＝士会員」実現のための方策と工程表の最終確定と、その実現に向けて会員への啓発の推進、定款・諸規程の改定案の作成、都道府県作業療法士会と協働した士会システム改修に向けての要件確定・システム開発の準備に着手……継続 (#53「協会員＝士会員」実現のための検討委員会・47 都道府県委員会・事務局)
- 2) 協会組織改編に向けた定款変更、関係諸規程の改定、職員の補充等事務局内体制整備の継続……継続 (#47 事務局)
- 3) 組織率向上のための具体的課題整理と、都道府県士会との協働による対応策の提示……新規 (組織率向上対策担当理事)
- 4) 女性会員の参画促進のための事業の再評価と、新たな対策の検討……新規 (#50 女性会員の参画促進事業担当理事)

( )内は、関連している「第三次作業療法 5 年戦略(2018-2022)」の具体的行動目標番号と担当部署を示す。